

助成受給団体名	ふりがな かほくちくぼうはんきょうかいいれんごうかい 河北地区防犯協会連合会
事業の名称	自主防犯活動の推進
実施期間	平成26年 8月 1日～平成27年 2月28日
実施した事業の内容（200字以上500字以内に収めてください。）	
<p>1 全国地域安全運動（10/10～10/20）、年末・年始特別警戒期間（12/15～1/7）中における各出動式及び各種広報活動として、仮設住宅の各戸訪問、大型スーパー、道の駅でのキャンペーンを実施した。</p> <p>その際、助成を受けて購入した、ブルゾンの着用やのぼり旗を設置しての活動を行った。</p> <p>2 毎月15日、特殊詐欺被害抑止強化日となっていることから助成を受けて購入したポケットティッシュ、リーフレットを活用し、金融機関店舗前におけるキャンペーン活動を実施した。</p> <p>3 地域防犯サポーターが年間を通じて仮設住宅敷地内を巡回し、仮設住宅の安全・安心に努めた。</p>	
事業の成果（200字以上400字以内に収めてください。）	
<p>1 当地区には22箇所の仮設住宅があり、平成27年2月末現在1201戸、2655人が生活している。</p> <p>仮設住宅において住民が立ち上げた自主防犯パトロール隊が揃いの黄色ブルゾンを着用し、パトロール活動を展開したことにより「見せる」効果的な防犯広報を実施することができた。</p> <p>2 全国地域安全運動期間中は仮設住宅の戸別訪問の実施、大型店舗前におけるキャンペーン活動を展開することにより、地域住民に対する広報活動を実施することができた。</p> <p>3 年末年始特別警戒期間中においては、道の駅「上品の郷」におけるキャンペーン活動の実施した。</p> <p>また毎月15日には金融機関において振り込め詐欺対策の一環としてATMキャンペーンを実施したことにより、地域住民に対する振り込め詐欺の抑止効果に繋がった。</p> <p>以上各種キャンペーンにおいてのぼり旗を掲げ、リーフレットやポケットティッシュを配布したことにより、効果的であった。</p>	
今後の課題	
<p>長引く避難生活におけるストレスが原因と考えられる近隣住民とのトラブルが増加していることから、住民の笑顔を取り戻すための取り組みを推進すると共に、住民による自主防犯活動を充実させるため、継続したパトロール隊やボランティア隊に対する支援を行うことが必要である。</p>	

